

全国協議会 ニュース

2009年3月1日発行 第201号
発行所 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217 FAX.(03)3356-8637
発行責任者:中野勝博
http://www.marow.or.jp/ E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754
銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

舛添厚生労働大臣に 66562筆の署名を提出

1月号でお知らせした、「骨髄採取過剰キット在庫不足問題に関する情報公開と承認キット使用による患者負担増加回避を求める」緊急署名提出の報告です。第一次集約日とした1月31日から遅れること約3週間、2月24日午前11時、国会会期中でお忙しい中ではありましたが、大谷会長、患者家族2名と事務局で、舛添厚生労働大臣に直接手渡しに参りました。個人、メールの各署名、メールでの意見書あわせて66562筆、この他に59団体からの要望書を、マスコミ本社が見守る中で提出しましたので、テレビや新聞のニュースでご覧になった方も多かったかもしれません。

1月28日にバイオアクセス社製キットの承認申請が出され、署名提出時点の2月24日現在、PMDA(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)にて審査中とのこと。「26日もその結果が出る見込みだが、患者さんが大変な状況にならないように、一決決心をして仕事のやりくりも入院してくれるドナーさんがいる。このことはやっぱり患者さんに感じてほしいし、もしかしら、移植に携わる医療関係者の皆さんも、余り意識しなくなってしまうのかもれない。でも、やっぱり忘れずについてほしい。」



造血細胞移植学会参加報告

「近頃、患者さんからの手紙が減ってきたり減っている」……あるコーディネーターさんからこんな話を聞き、考え込んでしまいました。「骨髄バンク」が目指しているのは、移植を希望する患者さんが、普通に薬を買うように、容易に骨髄を得ることが出来るシステムだったのではないのか?でも、そこには生身の、そして



「近頃、患者さんからの手紙が減ってきたり減っている」……あるコーディネーターさんからこんな話を聞き、考え込んでしまいました。「骨髄バンク」が目指しているのは、移植を希望する患者さんが、普通に薬を買うように、容易に骨髄を得ることが出来るシステムだったのではないのか?でも、そこには生身の、そして

財団主催ボランティア連絡会に参加して

2月18日(木) 午後開催された財団主催のボランティア連絡会に、全国協議会を代表して遠山副理事長と事務局長の菅が出席してきました。2年前に行われた連絡会のおりに、もっと広く参加を呼びかけた方が良く、と申し上げたのですが、今回も同じ顔ぶれで、全国協議会、関西協会、血液情報広場・つばき、ライオンズ330複合地区の4団体でした。財団からは正岡理事長、斎藤副理事長、平井常務理事他、各部長が出席し、席上資料の説明を受けました。

正岡理事長からは、全国協議会が単独主催することになった、「1万例&5千例あり」というキャンペーンや、佐藤さち子患者支援基金「採取キットの署名活動」の事を特に取り上げ、全国協議会できなくてはならないことと、言っていただきました。協議会からは、C座の検査導入前に4桁化の検討をして欲しいことなどを発言しましたが、すぐ後に、常任理事会開催を控えていたため、おそらく誰もが話し足りなかったのではないかと思います。

1月15日、全国でスポーツクラブを展開するゴールドジムのスクール発表会「フィットネス・フェスタ」が銀座プロサム(東京)で、開催されました。白痴病に斃れた格闘家アンディ・フグ氏に強い影響を受けたゴールドジムの皆様が、故人の精神を受け継いで、何か形にしたいということ、昨年の1月と5月に続き、今回で3回目の開催となりました。

当日は関東地区を中心に42チーム・500名以上の参加者があり、中には関西から駆けつけたチームもあったとのこと。小さなお子さんから大人の方まで、みんなとびぎりの中では関西から駆けつけた遠山副理事長は、みなさんの熱い思いをずしりと感じながら、骨髄バンクへの更なる協力をよびかけて参りました。

プルデンシャル生命保険様よりご寄付拝受

プルデンシャル生命保険様より白血病患者支援基金へ370万円ものご寄付を頂きました。同社は、箱根駅伝の沿道に骨髄バンク支援ののぼりを立てる活動に参加した社員一人につき1万円を寄付する取り組みをされ、今年で4回目となりました。2月16日に行われた贈呈式は、活動参加者が最も多かった東京第二支社で開催されました。当日、贈呈式の部屋中に真っ赤なのぼりをずらりとディスプレイして迎えて下さいました。

駅伝の沿道応援には社員の皆さまだけでなく、そのご家族や知人、そして顧客の方も多くいらしたと聞き、感激いたしました。関係者の皆様は患者さんを応援し

もはや恒例! 「フィットネス・フェスタ」ゴールドジムがチャリティイベント

1月15日、全国でスポーツクラブを展開するゴールドジムのスクール発表会「フィットネス・フェスタ」が銀座プロサム(東京)で、開催されました。白痴病に斃れた格闘家アンディ・フグ氏に強い影響を受けたゴールドジムの皆様が、故人の精神を受け継いで、何か形にしたいということ、昨年の1月と5月に続き、今回で3回目の開催となりました。

当日は関東地区を中心に42チーム・500名以上の参加者があり、中には関西から駆けつけたチームもあったとのこと。小さなお子さんから大人の方まで、みんなとびぎりの中では関西から駆けつけた遠山副理事長は、みなさんの熱い思いをずしりと感じながら、骨髄バンクへの更なる協力をよびかけて参りました。



(大谷)

歴代編集長からの一言 その2

さらなる充実を期待 二見茂男
全国協議会ニュース200号おめでとうございます。私が編集長をしていた頃は、現在のようにメールアドレスではなく、全国協議会事務局に編集委員が2回集まって会議や作業をしていました。1回は次号の企画を考え、記事依頼を行う編集会議、もう1回は集まった原稿の校正、写真の選択、記事のタイトル、紙面の割り振り等を決める編集作業でした。

編集委員のみなさんは昼間は仕事をしており、夜に三々五々集まってきますので、作業日などは9時を回ってしまうこともしばしばでした。その意味では大変でしたが、編集委員の連帯感や結束、終わつた後は毎回曙橋駅前の中華料理屋でお酒を飲みながら食事をして、いろいろな話をするのが楽しみでした。今でも懐かしく思い出します。

現在のメールでの編集作業は、東京周辺以外の方も参加でき、時間的にも経費面からも効率的になったと思います。でも、たまには編集委員が集まってお酒でも飲みながら、こ

れからの紙面の企画アイデアを出し合うのもいいのではないのでしょうか。また、全国協議会ニュースは、協議会の活動報告、諸課題への意見表明、骨髄バンクの最新情報、各地団体の活動報告、ボランティアの紹介など、様々な記事がA3裏表の紙面にぎっしり詰まっています。とても充実した機関紙だと思います。ただ、紙面に限りがあり、個々の記事が突っ込み不足になったり、逆に記事が少ないと紙面を埋めるのに苦労したりすることもあります。今の新聞形式がいいのかを含め、今後のニュースのあり方や方向性をじっくり考えてみてはいかがでしょうか。それから最近、全国協議会の理事会や事務局と各地団体との情報の共有や、相互理解が不足しているのではないかと感じることもときどきあります。これは全国協議会ニュースだけで解決するものではありませんが、そのことも常に頭に置いて企画・編集にあたっていただきたいと思います。

心からのご寄付に感謝申し上げます

- 1月23日~2月20日
- ㈱サカタのタネ 現金 756,122円
 - ㈱THINKフィットネス (ゴールドジム) 現金 780,195円
 - ㈱タクトコーポレーション 現金 10,000円
 - エグゼキューブ㈱ 現金 11,900円
 - ㈱ガールスカウト日本連盟 埼玉県支部 現金 10,000円
 - たっくママの投稿募金 現金 2,925円
 - 岡崎市立甲山中学校生徒会 現金 100,000円
 - 久喜市立久喜南中学校PTA 現金 16,580円
 - ホームセンターコーナン 本店 現金 8,387円
 - 千葉骨髄バンク推進連絡会 現金 20,000円
 - 武田神楽・神命 現金 6,000円
 - 山田康博 現金 9,880円
 - 塩谷泰人 現金 1,000円
 - 匿名 現金 5,000円
 - 白血病患者支援基金
 - プルデンシャル生命保険㈱ 現金 3,700,000円
 - ㈱シオンドラッグ 中本店・大磯店 現金 3,931円
 - ファミリーマートFC池ノ上駅北口店 現金 2,100円
 - 匿名 現金 7,536円
 - 匿名 現金 11,520円
 - 匿名 現金 15,520円
 - 匿名 現金 44,500円
 - 佐藤さち子患者支援基金
 - にいがた・骨髄バンクを育てる会 「幸せのカラーチップ運動」 現金 199,555円 (敬称略)



パワフルな企画のボランティアの集いに「きっくいんせ!」

『骨髄移植が必要な患者さんのためドナー確保に努力されているボランティアの皆さま、ほんとうにご苦労様です。宮崎で開催される大会でもおおいに情報交換し、宮崎の太陽と豊かな自然にもふれて戴ければ幸いです。宮崎のボランティアスタッフも一生懸命準備しております。宮崎でお待ちしております。きっくいんせ!』これは、昨年の札幌大会で公開された宮崎県知事からのビデオメッセージです。パワフルな企画でお待ちしております。元気いっぱい取り揃えてお待ちしております。予定です(笑) どうぞ、元気をお持ち帰りください。

全国骨髄バンクボランティアの集いin都城
日時: 2009年5月30日(土) 14時~
場所: 都城総合文化ホール 大ホール

関連イベントとして、骨髄バンクチャリティライブ開催。
日時: 2009年5月29日(金) 19時~
場所: 都城ウエルネス交流プラザ・ムジカホール

ありがとうございます キャンペーン

各地での様子を
報告いただきました。

リレー植樹に暖かな協賛!! 桜の苗木50本拝受!!

2月3日、「ありがとうキャンペーン」全国リレー植樹に役立てて下さいと、(協)日本ライオン花木センター様(岐阜県可児市)より、桜の苗木50本をご恵贈いただきました。贈呈式では、山田将浩組合長様より「私共が骨髄バンク事業に貢献出来るのは、大変喜ばしいこと。ソメイヨシノが元気に育って骨髄バンクの発展につながることを願います」とのご挨拶をいただきました。苗木を受け取った中野理事長は「骨髄移植1万例、さい帯血移植5千例に達しましたが、残念ながら移植を受けるまでに至らなかった多くの患者さんを忘れること無く、今も闘病生活を余儀なくされる患



(野田)

記念植樹

2月3日午前10時、気温22度で真っ青な空。春を飛び越し初夏を思わせる強い陽射しの中、県庁敷地に沖繩の会メンバー、血液センター職員、県庁職員、骨髄移植・さい帯血移植を受けて元気になった患者さんも



2月11日、沖繩県に続き2番目となる全国リレー記念植樹会が、和歌山県紀の川市「青洲の里」において開催されました。全国協議会・中野理事長の挨拶からはじまり、紀の川市・

和歌山

中村市長はじめ関係者の方々から暖かい挨拶、患者さん、ドナー提供経験者のメッセージが紹介されました。その後、医療分野で偉大な功績を残された華岡青洲生誕の地としても有名なこの地に、出席して下さった方々、和歌山血液疾患患者家族の会「ひこばえ」のスタッフ全員で植樹を行いました。まだ1メートル20cmぐらいの可愛い桜の苗木が、枝を伸ばし花を咲かせて紀の川を望む頃、骨髄バンク・さい帯血バンクがより多くの方々に知っていただければ、すべての患者さんが生きるチャンスを得られるようになっていくことを強く願いました。午後からはJR和歌山駅にてありがとうキャンペーンのチラシ、シール、ティッシュを配布し、理解・支援として協力を呼びかけました。

徳島

徳島では、2月15日に記念植樹と街頭キャンペーンを行いました。認定病院である徳島大学



附属病院が現在改修中で適地が無かったため、同病院と日赤との間に位置し県が管理する蔵本公園に植樹場所を決め、趣旨に賛同していただいた「蜂須賀桜」と武家屋敷の会」様から桜の苗木をご提供いただきました。時候にも恵まれ、県関係者や蜂須賀桜の会の方、元患者さん、会のメンバーなど、また全国協議会からは神戸の名川さんが駆け

一斉街頭キャンペーン

札幌

2月11日の全国一斉ありがとうキャンペーンの日には、たいへん好都合なことがありました。先の5、6日には、札幌市で造血細胞移植学会が開催され、学会ほかの主催で市民公開講座が開かれました。1万例・5千例を振り返り、その歩みを検証する講演や、患者さんの闘病体験などが語られましたが、その紹介記事が、ちょうどこの日の北海道新聞朝刊に10段2分の1というスペースで掲載されました。キャンペーンを行ったジャスコ札幌平岡店でもこの記事を読んだ方が多く、反応は上々でした。記事は北海道協会ホームページに掲載しています。(加藤)



秋田

2月11日、イオン秋田ショッピングセンターにおいて「骨髄1万例&さい帯血5千例ありがとうキャンペーン」を行っていただきました。真冬の秋田にしては気温が8度くらいあって、穏やかな一日でした。いつもは日曜日だけ開設の献血ルームもこの日は開いており、献血と骨髄バンク登録を呼びかけながら、チラシとシールを配付しました。この頃は「登録します」と言っ

釧路

2月11日、心配された天候も何とか回復し、いよいよ街頭キャンペーン当日。そうは言ってもここは厳寒の地「釧路」。街頭なんかでキャンペーンを開催しても、歩いてる人がいるはずがない。そこで、いつも黄色いレシートでお世話になった。キティちゃんときずなちゃんのマスコットシールも好評で500枚のチラシと500個のティッシュは1時間あまりで「完売」。釧路の皆さんに幾ばく

埼玉

2月11日、埼玉ではイオン幸せのイエローレシートキャンペーンの日と重なったため、さいたま市のサティ北浦和店及びジャスコ大宮店にて、ありがとうキャンペーンのチラシと記念シールを、買い物に来た主婦や家族連れ、高校生などに、「ありがとう」の気持ちとともに配布しました。何度も立ち寄ってくれた小学生など、短い時間でしたが皆さんの優しさに触れることができました。(山中)

熊本

2月11日、熊本市下通りにてキャンペーンのチラシ、シールをキティティッシュと共に配布しました。当日は、近くで某食品メーカーの飲料無料配布などもあったため、人通りも多く、用意した分は予想以上に早くなくなってしまうました。ただ、内容について、詳しく聞いてくる人はほとんどいなかったものの、「何かな?」と目を通してくれる方が多数いらつしやったことは、確かな収穫でした。(坂田)



2月11日、宮崎県と読売巨人軍さんのご協力のもと、ジャイアンツの春季キャンプ場であるサンマリンスタージアムにてありがとうキャンペーンを開催いたしました。県内外から多くの巨人ファンがスタジアムに集まりました。ファンサービスの 일환としてステージが組まれており、トークショーやゲームなどで賑わう中、その数分を私どものPRタイムにご提供いただきました。この日は2月とは思えないポカポカ日和でしたが、チラシを受け取ってくださった方々と、さらにポカポカな温かさを分かち合えた...そんなキャンペーンになりました。(中村)

宮崎



ブロックセミナー 第三弾

近畿・中四国地区
近畿・中四国合同ブロックセミナーが2月7日(土)に神戸で開催されました。今回は、近畿地区の全団体と、鳥取、岡山からの参加を得て、出席者は20名以上と、近年になり盛況ぶりでした。患者支援の勉強会では、京都からがん支援団体NPOの理事長さんをお招きし、そのコーナー

ニュース名称小考〈予告編〉

「全国協議会ニュース」という名称は、創刊以来のもので私どもは、普段から何気なく「全国協議会」「協議会ニュース」と呼んでいます。骨髄バンク推進ボランティア以外の分野にも、同様の名称がいくつか存在することが、ネット検索でわかります。謙虚に、冷静に、そして客観的に考えてみると、「全国協議会」という名称が、私

ありがとうキャンペーン協賛金・寄付 (1/24~2/23)	
瑞浪桔梗ライオンズクラブ	5,000円
美濃加茂あじさいライオンズクラブ	30,000円
東京浅草ライオンズクラブ	10,000円
東京豊島西ライオンズクラブ	10,000円

(次号に続く)